【草花の部屋】

サンシモン
（ベンケイソウ科アエオニウム属　Aeonium arboreum cv.Atropurpureum ）

和名：クロホウシ（黒法師）　別名：アエオニウム

英名： Purple crest aeonium

ユキノシタ目　多肉植物・多年草　原産地：カナリア諸島、北アフリカ

花言葉：先取り、いい予感、永遠　花の色：黄

← 写真-１　サンシモン
撮影日：2019 年 02 月 27 日
撮影場所：シントラ(ポルトガル)にて
撮 影者：M　さん

↓↘ 写真-２、３　サンシモンの花
撮影日：2019 年 02 月 27 日
撮影場所：シントラ(ポルトガル)にて
撮影者：M　さん

リスボン(ポルトガル)の西隣の街、シントラ(世界遺産)で見かけました。昼食で立寄ったレストランの裏庭のプランターに・・。

同行の方が、「この花の名前はなんですか？」との問いに、「解りません」と。多肉植物の仲間だとは思いましたが、ともかく、始めて眼にする花(植物)でした。葉が黒く、最初は枯れ葉？とも・・。調べて見ると、日本では「黒法師」と呼ばれている植物でした。

地中海地域を中心に約 40 種が分布するベンケイソウ科アエオニウム属の多年草で、アエオニウム・アルボレウム種を元にした園芸品種だそうです。

大きく育つと、春の 3 月～4 月頃、小さな黄色い花を咲かせますが、花を咲かせた

黒法師は枯れてしまうことがほとんどだそうです。確実な方法ではありませんが、蕾の段階で切り取って開花させないようにすると枯れないこともあるようです。むしろ、蕾が出てきたら、植物の寿命が近いと考えた方が良いそうです。挿し木で簡単に増やすことが出来るので、剪定した芽を使って挿し木株を作っておくことができるそうです。

もともと、黒法師(サンシモン)が属するアエオニウム属の植物は、花が咲くと枯れてしまう性質を持っているそうです。

日常の管理ですが・・。

黒法師は冬生育型の多肉植物で、生育期は冬から春の間です。特にこの期間はよく陽の当たる場所で育てると良いそうで。また、日照時間が足りないと美しい葉色が褪せ、徒長するそうです。高温多湿の環境が苦手な性質なので、夏場は風通しの良い涼しい場所で夏越しを・・。